

戦没者などのご遺族の皆様へ

戦没者などのご遺族の皆様へ！

特別弔慰金の手続きはお済みですか？

戦没者などのご遺族の方に弔慰の意を表すため、特別弔慰金を支給しています。

【支給の方法】特別弔慰金は、戦没者一人について、額面40万円の国債で支給され、平成18年から27年までの10年間にわたって毎年4万円ずつ償還されます。

【支給の条件】特別弔慰金を受けることができるのは、満州事変（昭和6年9月18日）以後の戦没者などのご遺族ですが、平成17年4月1日現在で公務扶助料、遺族年金などを受けているご遺族がいない場合に限られます。

【支給の対象者】特別弔慰金は、主として次の遺族のうち、順序に従って最も順位が先の人一人に支給されます。

- ①平成17年4月1日までに弔慰金（遺族国庫債券）の受給権を取得した人
- ②戦没者などの子
- ③戦没者などと生計をともにしていた父母、孫、祖母、兄弟姉妹（婚姻、養子縁組により平成17年4月1日に氏が変わって

いる人は除かれます。）

- ④③以外の父母、孫、祖父、兄弟姉妹
- ⑤①から④以外の三親等内の親族（戦没者などの死亡まで引き続いて1年以上生計をともにしていた人に限りません。）

※戦没者などの死亡当時生まれ、子が死亡した場合は要件です。（子の場合は死亡当時の胎児も含まれます。）

【請求の期限】請求は平成20年3月31日までです。それまでに請求しないと受給ができなくなり、お早めに申請手続きを行ってください。

【受付窓口・問い合わせ先】市役所高齢福祉課高齢者福祉係

- ☎② 21111（内線171） 長浜支所市民福祉課
- ☎③ 11111（内線29） 脇川支所市民福祉課
- ☎④ 23111（内線226） 河辺支所市民福祉課
- ☎⑤ 21114（内線151） までご相談ください。

契約は慎重に！

●契約について

高齢者が悪質な訪問販売業者から、次々と商品購入の契約をさせられたり、若者がキャッチセールスなどにより、高額なアクセサリー購入やエステの契約をさせられたりするなどの消費者トラブル。このようなトラブルは、消費者が契約に関して十分に理解せず、業者に勧められるまま契約してしまうことが要因の一つとなっています。

●契約時のチェックポイント

商品の購入やサービスの提供を受けるときは、前もって情報を集め、比較検討することが大切です。安易に呼びかけに応じて行ったり、出かけて行ったりしないようにしましょう。

業者の巧みな言葉に惑わされず、本当に必要なかどうか考えることが大切です。また、決める前に家族など身近な人に相談しましょう。契約書をよく読んで話の内容と違ってないか、クレジットを利用する場合は、支払総額と月々の支払額、支払期間をよく確認しまし

よう。いろいろな時は、はっきり断りましょう。契約書類は保管しておきましょう。

●うっかり契約してしまったら

一定期間内であれば、クーリングオフができた、業者による嘘の説明などがあれば、契約の取り消しを主張できたりしますが、一

度結んだ契約は、簡単には取り消せないことを、十分に理解してください。

【消費生活に関する相談窓口】

- 市役所商工観光課商工観光第1係
- ☎② 21111（内線535）
- または各支所総務商工課
- ☎089（925）3700
- 愛媛県消費生活センター

文化財防火デー 1月26日(土)

大洲市には、歴史ある建築物が数多く残されています。地域で一体となり、誇れる文化財を未来に残しましょう。



たき火による火災の防止

たき火による火災の原因は、①燃え広がり ②飛び火 ③消火の不十分が大半を占めています。たき火をする機会が多い季節を迎えるにあたり、次のことに十分注意し、安全なたき火を心掛けましょう。

- 1 風の強い日はたき火をしない。
- 2 水バケツなどで、消火の用意をする。
- 3 火を消すまで、その場を離れない。
- 4 子どもだけでは、たき火をしない。
- 5 再び燃えださないように、完全に火が消えたことを確認する。



災害に強い地域づくりに向けて



▲消火器の取り扱い訓練をする住民ら（河辺町北平地区）



▲煙の恐ろしさを体験する参加者ら（長浜町沖浦地区）

**災害に強い地域づくりに向けて、
自分たちができることは自分たちで！**

11/3(土)

沖浦地区一斉 自主防災訓練

地域が一丸となって健全で災害に強い地域づくりを進めようと、沖浦地区自主防災組織・沖浦自治会主催（笹本榮一会長）による「地区一斉自主防災訓練」が実施され、沖浦・小浦地区合わせて230人の地域住民が参加しました。

これは、大洲消防署長浜支署・長浜分団第三部の協力を得て、地震や台風、土砂災害など各地で発生している自然災害に対応し、被害を最小限に食い止めるため実施されたものです。当日はこの秋一番の冷え込みとなり、避難場所を肱川あらしが覆っていました。住民らは、避難を呼びかけるサイレンと同時に、それぞれ2カ所の避難場所に徒歩で集合しました。訓練は、沖浦・小浦2カ所同時進行で行われ、それぞれ避難や地震体験車、消

自主防災組織

火に煙体験ハウス、配給の5項目の訓練が実施されました。参加者らは阪神・淡路大震災規模の揺れが体験できる地震体験車や火災時の煙を想定した煙体験ハウスなど、実際に災害時を想定した本番さながらの訓練に、災害時における恐怖を感じながらも避難方法や対処方法など支署職員の説明に熱心に耳を傾けていました。また、配給訓練では非常時における食の必要性と利便性という観点から、市販されている様々な保存食の説明が行われ、婦人会員らから参加者全員に乾パンと飲みものが手渡され訓練を終えました。

11/29(木)

河辺地域自主防災組織 連絡協議会設立

河辺基幹集落センターで、河辺地域自主防災組織連絡協議会の初会合が、坂本地区自主防災組織の呼びかけで開催されました。会合で

長浜路を力走

第42回長浜駅伝競走大会

11月11日(日)、長浜・白滝間を周回するコースで、第42回長浜駅伝競走大会が開催され、5部門にあわせて90チームが参加し健脚を競いました。選手らは、沿道の住民の声援を受けながら、一心にたすきをつないでいました。なお、大会結果は次のとおりです。



部門	順位	チーム名	タイム
1 部	1位	西予市体協A	1時間28分 4秒
	2位	YONDENクラブ	1時間28分13秒
	3位	松山陸協A	1時間29分 2秒
	4位	宇和島クラブ	1時間30分19秒
	5位	石井体協A	1時間30分34秒
	6位	新居浜楽走会A	1時間30分50秒
2 部	1位	長浜中選抜A	43分36秒
	2位	長浜中選抜B	48分23秒
	3位	長浜中サッカーACミラン	51分 3秒
3 部	1位	松山工業高校	1時間29分32秒
4 部	1位	長浜中選抜	59分50秒
	2位	長浜中バスケットA	1時間 0分56秒
女性の部	1位	石井体協女性A	55分16秒
	2位	松山駅伝クラブA	57分 8秒
	3位	大洲体協レディースA	57分19秒

は、4地区の事務局長以上が参加し、各組織の現状報告と課題、本協議会の今後の取り組みについて話し合いました。現状報告では、各組織の組織体制、年間事業や防災訓練の取り組み方、防災資器材の保有状況について熱心に協議され、本協

議会として、必要に応じ連絡会を持つことが確認されました。河辺地域4地区の自主防災組織では、それぞれ11月から12月にかけて、防災訓練が行われています。今後、より一層の組織の充実が期待されます。

まちのわだい



▲佐礼谷小学校児童による村中万才

10/27(土) 28(日) 家族連れなどでにぎわう ～長浜地区生活文化祭～

秋季恒例の長浜地区生活文化祭が、長浜ふれあい会館と商店街を中心に繰り広げられました。

会館では、手芸や生け花、写真、保育所園児や小・中学生の絵画などの作品が数多く展示され、家族連れらが熱心に見入っていました。

28日(日)には、商店街を歩行者天国にし、各種バザーや出店などのテントが並び、イベントコーナーでは、地元長浜中学校吹奏楽部の演奏や長浜高校生徒による「伊予長浜豊年踊り」、伊予市立佐礼谷小学校児童による「村中万才」が披露され、多くの観客から盛んな拍手が送られていました。



▲満開のコスモス (三嶋神社前)

10/27 (土) 蔵川を元気に ～第1回蔵川フラワーまつり～

豊かな清水と山間地特有の昼夜の温度差などからおいしい米が作られ、藩政時代には大洲藩主へも献上されていたと言われている米どころの蔵川地区で、第1回フラワーまつりが開催されました。この祭りは、農地のもつ多面的な機能を確保するとともに、地域内の連携と協調を図り、また都市とのイベント交流を通じて蔵川地区を元気にしようと、フラワーまつり実行委員会(寺尾庄一会長)が今年初めて開催したものです。

蔵川地域内には、合わせておよそ7haのコスモスが栽培されており、会場の三嶋神社周辺の棚田には、稲刈り後の9月に種がまかれたコスモスが6分咲きとなり、祭りに訪れた人を出迎えていました。当日は、あん餅や巻きようかんなどが販売されたほか、地元で伝わる「六つ鹿踊り」や「蔵川獅子」が披露されるなど、一日中賑わいをみせていました。

寺尾会長は、「今年は雨が少なく、種まき時に水をまくなど苦労したが、蔵川のみんなで取り組もうとする姿勢がとても嬉しい。ぜひ続けていきたい」と笑顔で話していました。



▲ていねいに植栽する高校生ら

11/1 (木) ツツジいっぱいプロジェクト ～JR伊予大洲駅～

JR伊予大洲駅が、地元の特色などをPRして地域振興に役立てようと、駅の構内に市の花木である「ツツジ」の苗木を植栽しました。植栽したのは、大洲・喜多地区内の高等学校9校で組織する大洲・喜多地区交通マナーアップクラブの生徒らで、この日はクラブの会員のうち8校の生徒とJRの関係者らおよそ30人が、約70cmのヒラドツツジの苗木20本を手際よく植えていきました。クラブの生徒らはJR伊予大洲駅と協力して駅前の自転車の整理などを実施しており、こうした活動を通じてJR四国より依頼を受け、今回植樹したものです。

須之内駅長は、「駅を利用されるお客様に楽しんでいただくとともに、ツツジを通して伊予の小京都大洲をPRしていきたい

い。今後もクラブの会員のみなさんに^{せんてい}剪定など管理をしていただきながら、毎年少しずつ増やしていく予定です」と話していました。

まちのわだい



▲満遍なく種をまく生徒たち

11/16
(金)

菜の花フェスタに向けて

～やすらぎの水辺づくり～

毎年春分の日には菜の花フェスタが開催される五郎の畑の前橋(赤橋)下の河川敷で、県立大洲農業高等学校の食品化学科一年生40人が菜の花の種をまきました。これは国土交通省と大洲市、大洲農高による「やすらぎの水辺整備事業」の一環で、平成7年度より続けられているものです。夏はヒマワリが栽培されるなど、四季を通じて市民をはじめ来訪者の憩いの場所となっています。この日生徒たちは1.2haの畑に等間隔に一列に並び、種が一カ所にまとまらないように土に混ぜられた菜の花の種50ℓをまいていきました。

見ごろは3月中旬ごろから4月上旬になるようです。暖かくなることが楽しみです。



▲講演する武田信平社長

11/17
(土)

フロスポーツを通じて地域活性化を

～地域密着型プロスポーツフォーラム～

サッカーの愛媛FCと野球のマンダリンパイレーツの二つのプロスポーツを活用して地域を活性化させようと、愛媛県プロスポーツ地域振興協議会(会長加戸守行知事)の主催により、地域密着型スポーツフォーラムが八幡浜・大洲地区運動公園(平野町)で開催されました。

体育センターで行われたセミナーでは、サッカーJ1川崎フロンターレの武田信平社長による「スポーツを核とした元気な地域づくり」と題した講演があり、「真の市民クラブになること

を目指して、まず地元のファンやサポーターを増やし、スタジアムに足を運んでもらうことが最も大切な事の一つ」であるとして、自身が取り組まれている地道な活動やその波及効果について紹介されました。講演後の意見交換会では、地元事例の発表者として、大洲スポーツクラブ設立準備委員会事務局の澤田典康さんから、本市で初めての総合型スポーツクラブ設立に向けての活動内容などが紹介されました。

また同センター隣の大洲球場と陸上競技場では、市内の中学校8校からおおよそ220人の生徒が参加してのサッカーと野球のスポーツ教室が開催され、野球教室ではポジションごとに別れ、捕球の仕方やゴロを処理する時の膝の使い方、足の運び方などの指導を受け、サッカー教室ではストレッチで体を十分にほぐした後、パスの正確な出し方やミニゲーム形式の練習などを行い、その都度プロから細かな技術指導を受けていました。



▲大いに盛り上がった大玉相撲

11/18
(日)

約6000人が訪れました

～第23回肱川ふれあいまつり～

流域市町などとの幅広い交流促進を目的として、風の博物館横の風のり広場を中心に、「第23回肱川ふれあいまつり」が開催されました。

会場内はいろいろな屋台が立ち並び、北海道えりも町の物産販売のほか、無料鮭鍋が振る舞われるなど、にぎやかな雰囲気になっていました。大玉相撲や正山太鼓演奏などのイベントが繰り広げられたほか、音羽しのぶ歌謡ショーでは、大勢の観衆がその美しい歌声に聞き入っていました。毎年恒例となっている「大富くじ」では、名前を読み上げる度に、歓声と大きなため息とが入り交じっていました。